

平成29年6月14日

平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業 「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」の実施

文化庁では、2020年に向けた取組の一環として、日本遺産に認定されている地域にある神社・仏閣等の伝統建築を活用した実演芸術公演「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」を実施します。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、国内外の人々が、日本の多彩で豊かな文化を再発見する機会を充実するための取組として「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」を実施します。

「日本遺産」と、日本が誇る伝統芸能などの「Live Art（実演芸術）」を掛け合わせたトークと実演を新たな切り口で紹介し、これまで気づけなかった魅力を親しみやすく発信します。各公演では地域芸能等の紹介や子供たちの参画を促し、地域に根差したイベントの創出を図ります。

記

1. 事業名称

「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」

2. 主催

文化庁、公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

3. 開催日・場所

2017年7月1日（土）	京都府精華町・けいはんなオープンイノベーションセンター
2017年7月2日（日）	京都府宇治市・萬福寺
2017年10月14日（土）	福井県小浜市・旭座（予定）
2017年10月15日（日）	富山県高岡市・瑞龍寺（予定）
2017年10月～11月	広島県尾道市・浄土寺（予定）
2017年10月～11月	島根県津和野町・太鼓谷稻荷神社（予定）

4. 事業内容

別紙参照

5. 取材について

取材を御希望の方は、各開催日の前日正午までに、別紙2の取材申込書をFAXにてお申込みください。

【担当】

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室

担当：堀口、杉村

電話：03-5253-4111（代）（内線3108）

FAX：03-6734-3811

「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」 概要

身近にあるのに気づかない“たからもの”を見つける旅にでかけませんか？「日本遺産」の特別な空間で、これからもずっと大切にしたい地域文化と伝統芸能を、新しい視点でご紹介する特別公演を実施します。きっと知っているようで知らなかった日本に出会えるはずです。各公演、テレビなどで親しみのある方が“旅人”としてご案内します。

■開催概要

名 称：「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」

(英語表記：Japan's Gifts Project — Japan Heritage × Live Art —)

主 催：文化庁、公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

共 催：実施地域の日本遺産認定の自治体等 ※実施地域により異なる

特別協力：近畿日本ツーリスト株式会社

協 力：一般社団法人共同通信社

開催日・場所・実施内容（一部予定）：

- ①2017年 7月 1日（土） 京都府精華町・けいはんなオープンイノベーションセンター
2017年 7月 2日（日） 京都府宇治市・萬福寺（京舞、落語、長唄）
- ②2017年 10月 14日（土） 福井県小浜市・旭座（日本舞踊・長唄・講談）（予定）
- ③2017年 10月 15日（日） 富山県高岡市・瑞龍寺（日本舞踊・長唄・講談）（予定）
- ④2017年 10月～11月 広島県尾道市・浄土寺（上方舞・箏曲・琵琶）（予定）
- ⑤2017年 10月～11月 島根県津和野町・太鼓谷稻荷神社（上方舞・箏曲・琵琶）（予定）

参加費：無料（ただし、一部会場では入場のための拝観料等が必要です）

申 込：一部のプログラムは事前申込制（先着順。ホームページ参照）

備 考：天災事変や諸事情により、中止または開催日・内容等が変更になる場合があります。

※「日本遺産」とは（文化庁「日本遺産」ポータルサイトより抜粋）

「文化庁では、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。（中略）日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがあります。」

詳しくは「日本遺産」ポータルサイト(<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/index.html>)を参照ください。

■最新情報・事前申込み

www.geidankyo.or.jp/takaramono/

※本記者発表の情報は、6月14日時点のものです。

※詳細や最新情報は、順次ホームページにて公開します。

■お問合せ（事務局）

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 【略称：芸団協】 TEL： 03-5909-3060

■京都イベント詳細

※敬称略

※内容・出演者等が変更になる場合があります

※他の地域での開催概要は、後日、事業ホームページ

(URL : <http://www.geidankyo.or.jp/takaramono/>) に掲載します

○7月1日(土)「日本遺産サミット」プレゼンテーション

13:00～ 京都府精華町 けいはんなオープンイノベーションセンター ホール

「日本遺産サミット」の開会式オープニングとして、京舞の人間国宝・井上八千代が、日本遺産プロジェクトを寿ぎ「八千代獅子」を舞います。(約10分/無料/自由参加)

立方(舞) 井上八千代, 井上葉子
地方(演奏) 三味線・歌 菊原光治, 菊寺智子
箏(こと) 菊萌文子



○7月2日(日) 京都公演(京都府宇治市・萬福寺)

開場 12:15 / 開演 12:30 / 終演 13:45 (予定)

(約75分/事前申込制/先着順/定員100人)

○日本遺産ストーリー「日本茶800年の歴史散歩」

[トーク] 宇治市歴史資料館 元館長 坂本博司

[上演内容]

京舞:(立方) 井上安寿子
(歌・三味線) 菊寺智子
(箏) 菊萌文子
落語:(上方落語) 桂吉坊
長唄:(唄) 今藤政子ほか
(三味線) 今藤長三朗ほか
(囃子) 中村寿慶ほか



○“旅人”(進行役): マーティ・フリードマン(日本遺産大使)

※各公演、著名な方が“旅人”となって、公演の進行役を務めながら
お客様と共に日本文化の“たからもの”にてあう旅に出ます

○連携: 「文化プログラムプレスセンター」(予定)

京都府内の高校生等が、記者経験者の指導のもと
本公演を取材、WEB等で記事を掲載(共同通信社等)



○共催: 京都府

○協力: 公益社団法人日本舞踊協会, 公益社団法人上方落語協会, 一般社団法人長唄協会

○申込: ホームページ(URL: <http://www.geidankyo.or.jp/takaramono/>) を参照の上メールで申込み

【出演】

次代を担う
中堅・若手を起用



京舞・井上安寿子



落語・桂吉坊



長唄・今藤長三朗



長唄・今藤政子

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室 宛
(FAX 03-6734-3811)

「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」
京都企画 取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により、FAX で文化プログラム推進室までお申し込みください。

1. 会社名及び部署名

--

2. 取材者氏名（全ての方のお名前を記入してください。）

氏名	フリガナ	役職（担当）	備考

3. 取材申込日・場所 ※ ○を付けてください。

取材場所	希望の開催場所に○を
精華町けいはんなオープンイノベーションセンター（7/1）	
京都府宇治市・萬福寺（7/2）	

4. 撮影機材 ※✓を付けてください。

カメラ 動画 台 スチール 台 ペン その他

5. 連絡先

氏名	
会社電話番号	
携帯電話番号	
e-mail	